

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第85号

## ななえ古写真物語

VOL. 85

### 残ったサワラ並木

旧峠下小学校のサワラ並木

昭和40年頃か？

峠下地区



サワラ（榎）という樹木をご存じでしょうか？ もともと北海道には自生していなく、見た目はヒノキとさほど変わらない葉をしている常緑樹で、古くから建材や家具、桶などの器を作るのに利用されてきました。

七飯町にはかつて、本町と峠下地区の2か所にサワラ並木がありました。残念ながら、本町地区の並木は平成7年頃に伐採され、もう姿を見ることができませんが、峠下地区のものは現在も残され、多くの車の往来を変わず眺めています。場所は、国道5号を函館から大沼方面へ北上し、大野新道と交差する手前の右手側にある峠下交番の所で、その敷地と国道の境目に、わずか一列だけ立ち並んでいます。

国道5号は函館市桔梗から峠下地区まで続く「赤松並木」があまりにも有名なため、このサワラに気が付くのは難しいかもしれませんし、この近辺のアカマツは古いものが多いこともあり、なおさら目立たないのかもしれません。

ちなみに、旧峠下小学校の校舎があったこの場所は、明治5年に「札幌本道」を開削した（ピチャリ第11号参照）折に洋風の「峠下ホテル」が建てられた、という歴史ある場所でもあることも、忘れずにいて欲しいと思います。

ところで、このサワラ並木がいつ植栽されたかについては定かではないですが、峠下小学校の沿革史を調べてみますと、明治17年の校舎新築にあたり、寄付金のほかに桧葉苗100本と松5本が寄贈されたことが記録されていますので、もしかしたら類似した葉であるこのサワラが桧葉苗として植栽された可能性があるのではないかと考えます。そうなれば、樹齢130年位となる計算となり、町内でも古木の類になるでしょう。

昭和40年頃と思われるこの写真は、歩道の整備やガードレールの設置をしようとしている様子と思われます。信号機も時代を感じるデザインで、その左側に、サワラ並木が並んでいます。現在国道5号は拡幅され4車線となっていますが、この当時はまだ2車線しかなかったことがわかりますし、沿道の木造住宅に懐かしさを感じます。並木の向かい側には、物見櫓のような塔がありますので、かつて、ここに消防団があったことも推測できます。

幸い、国道5号の拡幅時に、伐採されることを免れた峠下地区のサワラ並木。これからも七飯町の歴史を静かに見守ってくれることを願うばかりです。

## 3日

夜の博物館後期講座が始まりました。第1夜は「やさいのはなし」と題して七飯町における野菜栽培の歴史を、町内遺跡から検出した畑跡や、文書史料を紹介しながら話しました。

特に、明治期から西洋野菜が試験的に栽培されていたことや、箱館の開港によって馬鈴薯の栽培が広く浸透したという話に、参加の方々も、知られざる七飯町の歴史に触れて頂けたのではないかと思います。



## 2月の予定

1	日	ふぁみりーでいみゆーじあむ
2	月	
3	火	
4	水	夜の博物館
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	ジュニア探検クラブ

2月の休館日はありません。

## 27日

ジュニア探検クラブで、蕎麦打ちと餅つきを行いました。

蕎麦は、当館友の会の指導のもとで手打ちに挑戦です。蕎麦粉と中力粉に水を加えて素早くかき混ぜていくと、ほんのりと蕎麦の香りが広がってきます。まとめた生地を棒を使ってのして、包丁で切りましたが、うどん位の太さになったりと、個性的な蕎麦になりました。

餅つきは、初めて七飯町産のもち米を使用しましたが、館内に響き渡る臼と杵の音、子どもたちの元気な声がとても印象的でした。



## 28日

ふぁみりーでいみゆーじあむでも、餅つきを開催しました。低学年の子どもたちには、ちょっと杵が大きかったですが、みんな頑張っていましたよ。そして、今年はお父さんの参加も多かったので、力強い粘りのある餅が出来上がりました。

ついた餅であんこをくるんだり、砂糖醤油をつけたりして試食したら、おいしい笑顔でいっぱいになりました。この時期、定番の餅つきですが、毎年楽しく過ごせているのは、この笑顔のお陰かもしれません。



### 峠下の馬頭観音碑

峠下地区の山腹に、人知れず馬頭観音碑など4基が立ち並ぶ場所がある。古くは明治時代に建立された碑たちには、屋根がかかっていたが、風雨にさらされ倒壊し、石碑にもたれ掛っていたため雪積もる中、取り外してきました。寒かった・・・。



### 編集後記 ~tawagoto~

新たな年が始まったことだし、何か変化が欲しいなあ。という理由から、閉校となった鶴野小学校より譲り受けた熱帯魚たちの環境を改善することにしました。現在、水槽を大きくしてろ過装置も強化。新たに水草を導入したりと、春にはロビーで鑑賞できるようにしています。しかし、なぜか生き物の世話をしていると、仕事をさぼっているような感覚に陥ってしまうのは、私の修行が足りないせいなのか、はたまた邪な心の為か。（やまだひさし）

Richard ~ピチャリ~

第85号

平成27年1月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp